



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

収穫待ちの雨の日に、 収穫～乾燥・調整まで、作業の再確認！！

収穫作業

【適正な水管理】

収穫7日前までは、落水をせず土壌水分を維持しましょう。

【適期収穫】

収穫目安は、1穂に緑色籾数3粒～4粒。

【コンバイン刈取】

露が完全に落ち籾が、『さらさらした状態』で刈り取りましょう。

乾燥作業

【ヤケ米防止】

刈り取り後、すみやかに乾燥機に張り込み、送風により循環しましょう。

【胴割れ防止】

適期に刈り取りし、刈り遅れない。（刈り遅れにより胴割粒が発生）

高温での急激な乾燥は、水分ムラが生じやすく、胴割粒の発生が多くなるため

『ゆっくりと乾燥』を行いましょう！！（目安は、毎時乾燥速度0.8%以下）

※ 仕上げ水分は14.5%～15.0%を目標に仕上げましょう！



雨が続く日が多くなっている今年は、特に『水分ムラ・バラツキ』に注意しよう！

『ゆっくりと乾燥』

すぐ火を入れずに、送風で循環させてから乾燥しよう！！

籾摺作業

【肌ズレ防止】

乾燥直後の籾を籾摺りすると、玄米の表面がまだ柔らかいため、肌ズレが発生します。

籾摺りを行う時は、籾を常温の温度まで冷ましてから行いましょう。

他に、ロールの間隔の締め過ぎや古いロールのままだと肌ズレしやすくなります。

作業前の事前点検が重要になりますので、再確認しましょう！！